

第8回 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム幹事会 お打合せ記録

■日時：令和4年11月17日（木）10:00～11:00@Zoom

■参加者：

- 幹事団体は参加団体一覧を参照（赤字が事前送付との差異）
- 内閣官房 孤独・孤立対策担当室：次長 榊原毅、参事官 田村真一、参事官 澤瀬正明、企画官 唐沢裕之、政策参与 大西連、参事官補佐 高橋範充、参事官補佐 吉川晃、参事官補佐 松本憲司
- RCF：浦山泰之、渡辺朱音

（以下、敬称略）

■決定事項

- ・「孤独・孤立」ロゴマークについて、3案をPF会員（一号二号）にて投票する方針で対応を進める。
- ・孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム総会について、開催時期、成立条件、議事次第は資料3-1に記載の通りで対応を進める。
- ・実態把握調査の2次利用及び特別集計について、内閣官房が特別集計し、その結果を利用できるようにする。

■意見交換要旨

※資料訂正

「(1)担当幹事からの報告」について、「調査」は本日報告なし。

2. 議題

(1)担当幹事からの報告

□広報について

・内閣官房 吉川) ロゴマークを制作中。8月幹事会の際には、幹事団体にて5案から3案に絞り、PF会員にて投票し決定予定であった。しかし、制作業者と契約仕様の調整を行った結果、5案ではなく3案をPF会員にて投票し決定することとなった。11月下旬までに制作業者から3案が提案される。PF会員の投票前に幹事団体にはメールにて共有する。万が一、3案の審議が必要となった場合は12月幹事会にて諮ることとする。PF会員の投票は一号二号会員が対象。投票後、商標登録の抵触がないかの確認を行い、問題が無ければロゴマークが決定する流れである。仮に抵触していた場合、広報担当幹事団体と共に修正を施して確定としたい。

→本内容について発言のある方はいないため、本内容にて進めさせていただきます。

□第2回シンポジウムについて（資料1）

・新公益連盟 井澤）資料1に基づいてご説明。累計動画再生回数は11/16時点で1,282回であった。

(2) 分科会等

□分科会2 中間整理について（資料2-1①）

・日本NP0センター 吉田）資料2-1①に基づいてご説明。10月幹事会で説明した中間整理（案）からの主な変更点を中心にご説明。

□第3回シンポジウムについて（資料2-1②）

・全国社会福祉協議会 高橋）資料2-1②に基づいてご説明。日程は12/20（火）にて確定。

□分科会3について（資料2-2）

・内閣官房 田村）資料2-2に基づいてご説明。幹事団体にもチラシのデータを送付するため、適宜活用し広報に協力いただきたい。

・子育てひろば全国連絡協議会 奥山）12/1~2に実施する際の相談のつなぎ先を募集中だが、子育てひろば全国連絡協議会の傘下団体もつなぎ先として登録を考えている。その場合、子育てひろば全国連絡協議会にて取りまとめて内閣官房に共有すべきか、もしくは直接各団体が申請すべきか。理事団体等と相談をメインで対応している団体に声掛けする予定である。

→内閣官房 田村）地域でつながれる団体の情報を整理することが、今後相談から支援につなぐ際に必要な情報となる。このあたりは縦割りとなっており、全体を見た時に分かる状態になっていないことから、明らかにしていきたい考え。申請については、子育てひろば全国連絡協議会にて取りまとめてでも、各団体毎でも、やりやすい方法で構わない。

・あなたのいばしょ 大空）チラシについて、「孤独・孤立」にのみルビがある理由は何か。

→内閣官房 田村）難解だと考えたためである。

→あなたのいばしょ 大空）ルビに関する議論は繰り返し行っている。委員会で基準を設けたため、その基準に沿うべきである。また、イラストは女性だけにすることはやめた方がよく、もう少し配慮すべきではないか。

→内閣官房 田村）順次修正する。

・ライフリンク 根岸) メディア関係のアプローチ状況を教えていただきたい。

→内閣官房 田村) 大臣記者会見にて発表し資料も配布済。3社程度が記事にしたいということで追加質問があり情報提供した。どこか然るべきところで流していただけたと考えている。またそれ以外にも、拠点数や団体名を加えたイメージ図が完成し次第再周知を行い、広報に力を入れていただけるよう内閣官房からも諮っていききたい考え。

・あなたのいばしょ 大空) 過去の利用者属性や内容等は明らかになっているか。

→内閣官房 田村) 速報レポートは幹事団体に既に共有済。相談記録の分析結果も出来上がっており、分科会3担当幹事団体には共有済である。表現等の修正があり時間を要していたところ。速報レポート等より気が付いた点があれば教えていただきたい。

→あなたのいばしょ 大空) やみくもに広報するのではなく、これまでの取組で掴み切れなかった層にアプローチする方が好ましいと考える。検証した上でエビデンスに基づいて広報すると非常に良いのではないか。

→内閣官房 田村) 説明が漏れた点がある。第2期は、最も電話が多かった時間帯は午前9~10時であったが、9時代は体制が十分ではなかった。次回は昼の12時開始とし、午前9~10時は体制を強化し応答できるようにデータ結果を踏まえて改善している。

(3) 総会の進め方等

☐ 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム総会について (資料3)

・内閣官房 吉川) 資料3に基づいてご説明。設立総会の際には、設立総会前に座談会を設け、幹事団体には官邸にお越しいただいた。本総会の会場は未定だが、幹事団体にはオフラインにて集まっていただく想定である。そのために儀式的な総会とは別に企画(座談会等)を開催する可能性も含め検討しており、詳細は幹事団体に相談し進めていきたい。

→内閣官房 吉川) 開催時期や進め方に異論のある方はいないため、本内容にて進めさせていただく。具体的な日付は改めて提示し確定していきたい。また、12月幹事会でも検討内容を示して諮っていききたいため引継ぎ協力いただきたい。

(4) その他

☐ 実態把握調査の2次利用及び特別集計について (資料4-1)

・内閣官房 田村) 資料4-1に基づいてご説明、ご提案。

・子育てひろば全国連絡協議会 奥山) オープンデータとして研究者にはデータ活用していただいて良い、ということか。今の提案は、参考例としていくつかの表やグラフを示す際に何を示したら良いか、という希望を聞いているのか。

→内閣官房 田村) 研究者はオンサイト利用が可能。しかし制約が多く、NPO等関係者に何うと使いにくいという意見もあった。そこで、調査実施者として特別集計は可能であるため、どのような集計をすべきかというアイデアを幹事団体からいただきたい。するとPFの今後の議論に役立てることが出来、また本調査は毎年実施する調査であるため、変化を見ることが可能。PF会員全体に意見を何うと意見集約が難しいため、まずは分科会議論を熟知している幹事団体の意見集約ということで考えている。

→子育てひろば全国連絡協議会 奥山) 現時点で提示されたものを示したうえで、さらに「このようなデータが欲しい」という要望に対して今後臨機応変に対応することも可能か。

→内閣官房 田村) 調査担当者は、次回調査の調査票を配布し回収するまでは少し間が空いており、そのタイミングで特別集計を実施する想定。1月半ば以降に次回調査の対応が始まると多忙になるため、いつでも臨機応変に対応することは難しい。調査項目自体は大きく変わらず、現時点のデータはサイトで閲覧可能。集計していない内容で「これは必要」というものがあればこの機会に意見をいただきたい、という趣旨である。

・あなたのいばしょ 大空) e-Stat上のデータで自らクロス集計することは不可能か。

→内閣官房 松本) e-Statには集計された統計表が掲載されている。集計されたものをさらにカテゴリ統合することは可能だが、改めてクロス集計することは不可能である。

→あなたのいばしょ 大空) 基礎情報を多く取っていないため、e-Stat上でも十分ニーズを満たせるのでは、と考える。内閣官房の作業負担が大きすぎるのではないか。

→内閣官房 田村) 負担が増大した場合、幹事会で優先順位をつけ対応したい。

→あなたのいばしょ 大空) 業務量を含めて検討すると理解した。

→その他、本内容について発言のある方はいないため、本内容にて進めさせていただきます。

□総合経済対策について（資料4-2）

・内閣官房 澤瀬) 資料4-2に基づいてご説明。昨年度より若干の増額となっている。重点計画にも掲げられている安定的な支援の継続に向けて、補正予算と

当初予算を合わせて、おおむね60億円がひとつの目標になっていたが、不足部分については当初予算で検討中である。最終的な予算はまた改めてご説明する。

・日本NP0センター 吉田) 既存の取組は今までのスキームを活用する理解だが、新規の取組はどのようなスケジュールで進めるのか。

→内閣官房 澤瀬) 内容はこれから詰める段階。これは補正予算であり、繰り越しも上手く利用したい考え。2~3月には制度の形を決めて公募できるように進めていきたい。

以上

令和4年11月17日

第8回 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム

幹事会(オンライン)参加団体(開催後追記)

団体名	出席者 (⇒代理出席又は欠席)	幹事会 へ一任
全国社会福祉協議会	清家 篤(せいけ・あつし)会長 ⇒代理出席 高橋良太 地域福祉部長	—
全国社会福祉法人経営者協議会	磯 彰格(いそ・あきただ)会長 ⇒代理出席 宮内良樹 法人振興部副部長	—
認定NPO法人日本NPOセンター	吉田 建治(よしだ・けんじ)事務局長	—
NPO法人新公益連盟	白井 智子(しらい・ともこ)代表理事 ⇒代理出席 井澤徹 孤独・孤立担当	—
NPO法人あなたのいばしょ (SNS相談コンソーシアム)	大空 幸星(おおぞら・こうき)理事長 上原 純枝(うえはら・すみえ)チャット相談 事業部長	—
NPO法人自殺対策支援センターライフリンク	清水 康之(しみず・やすゆき)代表 ⇒代理出席 根岸親 副代表	—
一般社団法人 日本いのちの電話連盟	堀井 茂男(ほりい・しげお)理事長 ⇒代理出席 小西慶直 孤独・孤立相談プ ラットフォーム事務担当	—
一般社団法人 社会的包摂サポートセンター (よりそいホットライン)	遠藤 智子(えんどう・ともこ)事務局長 ⇒代理出席 北村恵美 よりそいホットライン 全国コーディネーター、澤上幸子 よりそい ホットライン被災事業コーディネーター	—
一般社団法人 生活困窮者自立支援全国ネットワーク	奥田 知志(おくだ・ともし)共同代表 高橋 陽佑(たかはし・ようすけ) 事務局担 当	—
認定NPO法人 全国子ども食堂支援センター・むすびえ	湯浅 誠(ゆあさ・まこと)理事長 ⇒代理出席 和田裕平 プロジェクトメンバー	—
一般社団法人 全国フードバンク推進協議会	米山 広明(よねやま・ひろあき)代表理事	—
認定 NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ (シングルマザーサポート団体全国協議会)	赤石 千衣子(あかいし・ちえこ)理事長 ⇒欠席	○
NPO法人全国女性シェルターネット	北仲 千里(きたなか・ちさと)共同代表	○

	⇒ 欠席	
NPO法人子育てひろば全国連絡協議会	奥山 千鶴子(おくやま・ちづこ)理事長	—